

杉戸町出前座談会「すぎトーク」意見交換記録（要旨）

- 注文者 誰もが安心してらせる杉戸町をつくる会
- 開催日時 令和7年5月2日（金）10時00分～11時40分
- 開催会場 カルスタすぎと 集会室1・2 参加者数 36名
- テーマ デマンド交通の実証、巡回バスの土日運行など地域公共交通の改善について

ご意見・ご要望	町の考え方
○イベント（シルバーまつり）がある日だけでも、巡回バスを土日運行してもらいたい。	町のイベント（農業祭など）時に臨時のシャトルバスを運行した際、周知不足もあったと思いますが、あまり乗車率がよくなかったと聞いております。しかしながら、イベントなど臨時的な巡回バスの土日運行について、検討してまいります。
○町内巡回バスを新しくできたベルク付近に停車してもらいたい。	今年の4月1日から巡回バスの運行コースや一部停留所を変更しましたが、ベルクがオープンする前に変更事項が決定しておりました。新たに停留所を設置するためには、地域公共交通会議に諮った後、国への許可申請が必要となります。従いまして、一定の時間が掛かりますが、十分検討してまいります。
○病院や買い物などに行くため、低額の巡回バスを利用したいが、停留所が近くになかったり、停留所まで歩いて行けない人がある。また、高いタクシー料金を負担できない人もある。このような不便さを解消してもらいたい。	現在の巡回バスの停留所は、様々な観点から停留所の位置を決定しております。今後も、様々な移動支援策について、町民の皆様や地域公共交通事業者等の御意見を伺いながら、調査研究してまいります。
○移住定住を促進するため、公共交通体系を充実させていくことが重要であると考えているが、町の考え方は？	公共交通体系を充実させていくことは、町の魅力につながるものと考えております。現在、全国的にバスの赤字路線が廃止になるなど、地域公共交通を取り巻く環境は日々変化しております。今後も、民間の交通事業者とのバランスなどを考慮した上で、様々な地域公共交通のあり方について、調査研究してまいります。
○公共ライドシェアを導入できないか？	国では、公共交通空白地のようなところであれば、公共ライドシェアを導入してもよいとの考えがあります。当町は空白地には当たりませんが、公共ライドシェアの導入について、調査研究してまいります。

ご意見・ご要望	町の考え方
○駅やバス停など、公共交通機関が近くにない方は、外出ができず、うつ病など病気にかかりやすく、不健康になると聞いている。病人が増え、医療費が嵩むことなど、総合的に考えれば、鴻巣市のようにデマンド交通を導入してもよいのでは？	デマンド交通の導入につきましては、今後も巡回バスを運行しております杉戸町地域公共交通推進協議会や、地域公共交通を担う事業者等の意見も伺いながら、既存の交通事業者とのバランスを考慮し、町といたしましては、様々な移動支援策がある中で、デマンド交通を含め、どのような支援策を選択していくのか、町民の御要望や財政状況等を踏まえ、引き続き、調査研究してまいります。
○地域公共交通にかけられるお金は、4千万円の壁があると聞いたことがあるが、本当なのか？	4千万円の壁はありません。
○4千万円の壁がないのであれば、デマンド交通を実施することは可能ではないか？	地域公共交通にかけられるお金は、いくらでもかけられるものではありません。町の財政状況等を踏まえますと限度がありますので、御理解願います。
○来年の町長選挙では、地域公共交通、デマンド交通は選挙の争点になると考えますが、町長の考えは？	現在は、利用者も多くある巡回バスを採用しておりますが、町民の皆様の御意見を伺いながら、巡回バスを改善していくとともに、デマンド交通も含め、様々な地域公共交通のあり方について、調査研究してまいります。